2022年3月吉日

2021-22年度

　 ガバナー　各位

　 パストガバナー　　各位

　 ガバナーエレクト　各位

　 ガバナーノミニー　各位

　 地区青少年奉仕委員長　各位

　 地区RYLA委員長　各位

　　　　　　　　　　　　　　　　第14回全国RYLA研究会実行委員長　RI理事 辰野　克彦

　　　　　　　　　　　　　　　　同副委員長　RI理事エレクト　　　　　 佐藤　芳郎

　　　　　　　　　　　　　　　　同副委員長　ホスト地区RID2690ガバナー　 岩崎　陽一

　　　　　　　　　　　　　　　　同副委員長　RID2680ガバナー　　 　　　 吉岡　博忠

　　　　　　　　　　　　　　　　同委員　ホストクラブRID鳥取西RC会長 米村　年博

第１４回全国RYLA研究会開催のご案内

　春暖の候、ロータリアンの皆様におかれましてはますます御清祥のこととお慶び申し上げます。日頃よりロータリー青少年奉仕活動、とりわけロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）の活動に対して御高配を賜っていることに厚くお礼を申し上げます。

　RYLAは、地域社会、国際社会に奉仕する青少年リーダーの養成を目指して活動を続けています。しかしながら、国際ロータリーの世界各地区におけるその活動形態は多様であり、日本も例外ではありません。こうした実情を鑑み、2020年開催の第12回全国RYLA研究会では、RYLAが具備すべき基本的要素を巡って検討を行いました。

本年の第14回全国RYLA研究会では、昨年2021年に山形県で開催された第13回全国RYLA研究会のテーマ「RYLAの真髄」を継承することとし、RYLAが具備すべき基本的要素に関する理解を深めることに主眼を置くこととしました。第12回大会では、RYLAの基本的要素として、RYLArianの個人的倫理の確立、運動体としてのRYLAの組織原理の確立、時代の変遷と地域社会のニーズに対応したRYLAの活動実践の三つが提起されています。本年の研究会を通じ、RYLAが備える基本的要素について研究を深め、地域社会、国際社会に奉仕する青少年リーダーの養成を目指すRALAの実践活動の充実に資する成果を導くことができれば幸いです。風光明媚で食材に恵まれた鳥取の地に多くのロータリアンが参集して下さいますようご案内申し上げます。

なお、COVID-19のパンデミックによる影響が長期化しており、安全対策に万全を期して研究会を開催する必要があります。現地大会実行委員会では、通常の対面式での研究会開催を前提にして準備を進めていますが、場合によっては参加者を限定し、対面式とZOOMによるWeb会議システムを組み合わせた方式に変更することも予想されます。対面式とハイブリッド方式のいずれの開催方法をとるかの判断については、４月中旬に改めてご案内させていただきますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

|  |
| --- |
|  **第14回全国RYLA研究会では、新型コロナウイルス感染症** |
| **に対する安全対策に万全を期して大会開催に努めます。ご出席** |
| **の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます** |

|  |
| --- |
| 2021-22年度全国RYLA研究会国際ロータリー第2690地区 大会実行委員会事務局〒680-0942　鳥取市湖山町東２丁目133サンマート３FTel＆Fax：0857-50-1252　　E-mail：office@2021-rid2690.jp |